

■ 平成 21 年総会議事録

日時：平成 21 年 12 月 1 日（火）13：30～14：15

場所：京都大学桂キャンパス B クラスター事務管理棟

出席者数：111 名（内、委任状 36 名）

議 事：

1. 総会成立報告

佐藤庶務幹事より、13 時 30 分の時点で委任状を含めて 111 名の出席があり、会則第 32 条の条件を満たしているの
で総会が成立することが報告され、総会が開会した。

2. 議長の選出

会則第 19 条に従い、江原会長が総会議長に選出された

3. 平成 21 年度事業報告

當舎総務委員長より平成 21 年度事業報告（平成 20 年 10 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日）がなされ、以下のように説
明された。

(1) 創立 30 周年記念大会（平成 20 年総会・学術講演会 金沢大会）の開催

日時：平成 20 年 10 月 30 日～平成 20 年 11 月 1 日

場所：金沢大学角間キャンパス

(2) 平成 21 年総会・学術講演会（京都大会）の開催準備

(3) 第 5 回タウンフォーラム「ゆったり湯学市民フォーラム」の開催

(4) 第 6 回タウンフォーラム「地熱」の開催準備

(5) 日本地球惑星科学連合 2009 年大会への参加とレギュラーセッション「火山の熱水系」の企画

(6) 国際惑星地球年（IYPE）への参加協力

(7) 日本地熱学会誌の発行

(8) 地熱発電と温泉との共生を検討する委員会の設置

(9) 専門部会の活動

・地中熱利用技術専門部会

・IGA 専門部会

(10) 学会ホームページの運営

(11) 平成 21 年度学会賞の授与

(12) 名誉会員の推薦

4. 平成 21 年度決算報告

安達経理委員長より平成 21 年度の決算報告がなされた（別表）。平成 21 年度の収入の総計は 8,040,341 円であり、ほ
ぼ予算並であった。会費収入および広告費等が予算額を下回ったが、金沢大会の収入により補うことができた。支出
の総計は 7,539,767 円であり、予算額を 484,803 円下回った。金沢大会開催費と専門部会費が予算よりも節約すること
ができたので、貸倒引当金を補って尚、昨年度繰越金を上回る 1,997,967 円を次年度繰越金とすることができた。

5. 平成 21 年度会計監査報告

矢野監事より、会則第 22 条に基づき矢野・山田両監事が収支決算書について帳簿、預金通帳、証書などを監査した
結果、学会経理、学術講演会経理、地中熱利用技術専門部会経理、IGA 専門部会経理のいずれも正しく処理されてい
ることが報告された。

6. 審議と承認

会則第 35 条に基づき平成 20 年度事業報告と決算報告、会則第 22 条に基づき監査報告について審議を行った結果、
いずれも異議なく承認された。

7. 平成 22 年度事業計画案

當舎総務委員長より、以下の平成 22 年度事業計画（平成 21 年 10 月 1 日～平成 22 年 9 月 30 日）の提案と説明がな
された。

(1) 平成 21 年総会、学術講演会（京都大会）の開催

日時：平成 21 年 11 月 30 日～平成 21 年 12 月 2 日

場所：京都大学桂キャンパス

(2) 平成 22 年総会、学術講演会の開催準備

(3) 第 6 回タウンフォーラム「地熱」の開催

(4) 第 7 回タウンフォーラムの開催準備

(5) 日本地球惑星科学連合 2010 年大会への参加とセッション「火山の熱水系」・その他の企画

(6) RE2010（再生可能エネルギー2010 国際会議）ワークショップの企画・開催

(7) 日本地熱学会誌の発行

(8) 専門部会等の活動

・地中熱利用技術専門部会

・IGA 専門部会

(9) 地熱発電と温泉との共生を検討する委員会

・地熱学会誌第 32 巻 2 号に報告書を掲載する予定。

(10) 学会ホームページの運営

(11) 平成 22 年度学会賞の授与

(12) 会員名簿の発行

(13) 第 17 期評議員・会長選挙の実施

(14) 火力原子力発電技術協会への入会

・火力原子力発電協会は旧地熱調査会の各種データ・資料等を引き継いでおり、加入は会員の利益となると考えられるため学会として入会を検討する。

8. 平成 22 年度予算計画案

安達経理委員長より、平成 22 年度予算案（別表）についての提案と説明がなされた。平成 22 年度の収入は 7,835,000 円を見込んでおり、前年度よりも 205,381 円少なくなる見通しである。これは京都大会での収入減を見込んで計上されている。平成 22 年度の支出は 8,021,000 円であり、昨年度決算よりも増額している。これは名簿発行と選挙関係費用の支出増は積立金の減額で補ったが、地熱発電と温泉との共生を検討する委員会報告書出版費と専門部会費の減額分復活により、支出総額として増となった。その結果、平成 23 年度への繰越予定額は昨年度決算比で 186,000 円減となったが、平成 21 年度繰越金より 314,614 円多く、財政的な不安は無いと考えられる。

9. 審議と承認

会則第 34 条に基づき平成 21 年度事業計画修正案と予算案について審議を行った結果、いずれも異議なく承認された。

10. 平成 21 年度学会賞授与

花野学会賞選考委員長より選考理由の説明がなされた後、江原会長より学会賞が以下の各会員に授与された。（注：選考理由の詳細は本号学会賞記事に掲載）

(1)論文賞

藤井 光・大久保 博晃・糸井 龍一・小助川 洋幸 会員

「不均質地層における U 字管型地中熱交換井の温度挙動解析」（会誌第 28 巻第 2 号，p.199-210）を対象として。

(2) 功績賞

牛島 恵輔 会員

野田 徹郎 会員

(3)研究奨励賞

石上 孝 会員

「地中熱利用冷暖房・融雪システムにおける垂直型 U 字管熱交換井の運転実績評価」（共著）（会誌第 29 巻第 2 号，p.91-102）

「建物基礎杭を利用した地中熱利用冷暖房システムのシミュレーションモデル構築と地中熱交換量の検討―秋田市山王中学校の例―」（共著）（会誌第 30 巻第 4 号，p.271-280）の両論文を対象として。

11. 平成 21 年度名誉会員の推薦と承認

當舎総務委員長より小川 克郎 会員，長谷 紘和 会員が評議員会で名誉会員に推薦されたことが報告され，推薦理由が説明された。その後，両会員の名誉会員推薦が承認され，江原会長より名誉会員証が授与された。（両会員の略

歴、名誉会員推薦理由は本号に掲載)

12. 議事終了、閉会

以上をもってすべての審議事項が終了し、江原議長が離席した。その後、佐藤庶務幹事より総会の閉会が宣言された。

以上

平成 21 年度決算（平成 20 年 10 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日）並びに
平成 22 年度予算（平成 21 年 10 月 1 日～平成 22 年 9 月 30 日）

収入の部（単位：円）

費目	21年度			22年度		備 考
	予算 a	決算(案) b	差 b-a	予算(案) c	差 c-b	
1. 会費収入	5,704,000	5,527,000	△ 177,000	5,629,000	102,000	
正会員	3,574,000	3,517,000	△ 57,000	3,589,000	72,000	正会員530名⇒523名(うち学生34名⇒18名)
賛助会員	2,130,000	2,010,000	△ 120,000	2,040,000	30,000	66名(213口)⇒63名(204口)
2. 事業収入	2,018,570	2,210,192	191,622	1,853,000	△ 357,192	
大会参加費・懇親会・見学会等	1,265,000	1,550,322	285,322	1,116,000	△ 434,322	個人講演登録昨年150名⇒今年92名
会誌等売上	120,000	111,016	△ 8,984	112,000	984	
単行本「マグマ」売上	3,570	3,570	0	0	△ 3,570	
論文超過料金	400,000	420,000	20,000	400,000	△ 20,000	
広告	200,000	94,500	△ 105,500	195,000	100,500	名簿作成年度に付き 広告増見込み
著作権使用料	30,000	30,784	784	30,000	△ 784	
3. 雑収入	2,000	3,189	1,189	3,000	△ 189	
寄付	0	0	0	0	0	
利息	2,000	3,189	1,189	3,000	△ 189	
4. 特別収入	300,000	300,000	0	350,000	50,000	
記念事業積立金取崩し	300,000	300,000	0	0	△ 300,000	取崩し無し
選挙積立金取崩し	0	0	0	350,000	350,000	選挙年度
当期収入合計	8,024,570	8,040,381	15,811	7,835,000	△ 205,381	
前期繰越金	1,497,353	1,497,353	0	1,997,967	500,614	
収入合計	9,521,923	9,537,734	15,811	9,832,967	295,233	

支出の部（単位：円）

費目	21年度			22年度		備 考
	予算 a	決算 b	差 b-a	予算(案) c	差 c-b	
1. 事業費	5,077,856	4,549,977	△ 527,879	4,661,000	111,023	
大会開催費	1,495,000	1,338,813	△ 156,187	1,116,000	△ 222,813	運営費・懇親会・見学会・企画関連含む
次年度大会準備費	100,000	0	△ 100,000	100,000	100,000	プログラム印刷費、郵送費等
会誌発行費	3,400,000	3,163,665	△ 236,335	3,400,000	236,335	4回発行
学会賞費	80,000	44,643	△ 35,357	45,000	357	
単行本「マグマ」仕入れ	2,856	2,856	0	0	△ 2,856	
2. 管理費	1,996,714	1,880,290	△ 116,424	3,260,000	1,379,710	
委員会費	170,000	188,393	18,393	700,000	511,607	温泉共生委員会報告書出版費50万円 単年度増
専門部会費	149,655	43,000	△ 106,655	150,000	107,000	前年度予算並
地中熱利用技術IGA	128,660	28,660	△ 100,000	100,000	71,340	前年度予算並
名簿発行費	0	0	0	550,000	550,000	名簿発行年度
選挙費	0	0	0	160,000	160,000	選挙年度
会費	10,000	10,000	0	43,500	33,500	地球惑星連合(10,000円)、火力原子力発電技術協会(30,500+3,000円)
事務局費	1,490,000	1,514,512	24,512	1,456,500	△ 58,012	人件費、物品費、通信費、旅費、賛助会員要旨集等
予備費	48,399	95,725	47,326	100,000	4,275	
3. 特別支出	950,000	1,109,500	159,500	100,000	△ 1,009,500	
選挙関係費積立金	350,000	350,000	0	0	△ 350,000	選挙年度のため取り崩しのみ
記念事業費積立金	100,000	100,000	0	100,000	0	目標額50万円、現在高30万円に対し、例年並み10万円積み増し。
学会運営安定化基金積立金	500,000	500,000	0	0	△ 500,000	現在高300万円を維持
貸倒引当金	0	129,500	129,500	0	△ 129,500	H20/9/30現在368,000円⇒H21/9/30現在497,500円に増加
貸倒損失	0	30,000	30,000	0	△ 30,000	賛助会員1社が20年度分を未納のまま退会したため損金確定
当期支出合計	8,024,570	7,539,767	△ 484,803	8,021,000	481,233	
次期繰越金	1,497,353	1,997,967	500,614	1,811,967	△ 186,000	昨年度予算即ち一昨年度からの繰越金並
支出合計	9,521,923	9,537,734	15,811	9,832,967	295,233	